

## みえ森と緑の県民税市町交付金事業

せまも

# 子どもを守る<sup>まよ</sup>魔除けのしるし「背守り」ワークショップ<sup>0</sup>

魔物は背中から忍び寄る。幼い子どもの魂を守るために、母たちが産着や着物の背中に縫い取った小さな魔除けのしるし、それが「背守り」。縫い目には、そんな力があると考えられてきました。麻の葉や桐などの植物、その愛らしい図案を私たちも縫ってみましょう。そして、このような風習の中に潜む先祖たちの哲学、母たちの思いに思いを馳せながら、私たちも子どもたちの時代へと思いを伝えていきましょう。

令和8年3月22日(日)

【持ち物】眼鏡(必要な方)

【材料費】¥500

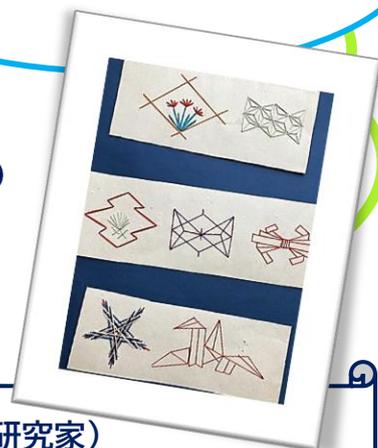
【日時】 午前10時~12時

【講師】 下中菜穂さん(サポートみずのかずこさん)

【対象】 小学生から大人まで(小学3年以下保護者同伴)

【申込】 申込先着順・30名(図書館までお電話でどうぞ)

【場所】 紀宝はぐくみの森2階 活性化ホール



### 下中菜穂さんプロフィール(しもなか なほ/造形作家 もんきり研究家)

江戸時代の切り紙「紋切りあそび」を通して「かたち」に込められた祖先の暮らしや文化、自然観などを紹介。国内外で切り紙の文化をフィールドワーク。文様を暮らしの中で使い、楽しむ生活文化を現代によみがえらせるべく活動中。著書に『こども文様ずかん』(平凡社)など多数。映像の百科事典「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」の活用チームとして、アーカイブ映像の実験的な上映会やワークショップを展開。どちらの活動でも、歩いて、出会って、観て、聞いて、感じて、やってみる。手や身体を通して、「過去からの贈り物」を受け取り、手渡して行くことがモットー。

## みえ森と緑の県民税

森林には、きれいな水を貯える機能や地球温暖化の防止、県土の保全、癒しや健康増進など、私たちが健康で快適な生活を送るために欠かすことのできない大切な働きがあります。しかし、山村地域の過疎化や林業の不振などにより、手入れが不足した荒廃森林が増えています。異常気象が増加していることも考え合わせると、自然災害の発生リスクが高まっていると考えられます。そこで、県では、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、「みえ森と緑の県民税」を平成26年4月1日から導入しました。県と市町が、「2つの基本方針と5つの対策」に沿って、「みえ森と緑の県民税」を活用した取組を行います。三重県公式ウェブサイト/三重の森林づくりHP より(一部抜粋)